

第3・4学年 道徳科学習指導案(事後研後改訂)

日時：令和4年9月22日（木）1校時

児童：3年 男子 1名

4年 男子 3名 女子1名

計5名

指導者：笹子 未来

1 主題名

第3学年	第4学年
正直に伝えるよさ【A-(2)正直、誠実】	明るいい心で【A-(2)正直、誠実】

2 資料名

第3学年	第4学年
『一本のアイス』 東京書籍「新しい道徳3」	『ひびが入った水そう』 東京書籍「新しい道徳4」

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について(授業者の価値観)

第3・4学年(共通)
本主題は、内容項目「A 主として自分自身に関すること」の「(2) 過ちは素直に改め、正直に明るいい心で生活すること」を扱うものである。児童が健康的で積極的に自分らしさを発揮できるようにするためには、自分の気持ちに偽りのないようにすることが求められる。また、自己の過ちを認め、改めていく素直さとともに、何事に対しても真面目に真心を込めて、明るく楽しい生活を心がけようとする姿勢を保つことが大切である。 過ちや失敗は誰にでも起こり得ることであり、それを嘘でごまかす行為は一時しのぎに過ぎず、真の解決には至らない。そればかりか、他者の信頼を失い、自分自身も後悔や自責の念に苛まれることになる。それらを乗り越えようとするのが正直な心であり、のびのびと過ごそうとする心の明るさでもある。このような誠実な生き方を大切にする心を育てていくことが重要である。

(2) 児童の実態(児童観)

第3学年	第4学年
【各教科】 様々な場面で、相手の立場に立って物事を考える時間を設定し、自分がその立場だったらどうするか、どうして欲しいか考えるとともに、その理由を明確にし、伝え合う活動を行ってきた。	
【特別活動】 縦割清掃活動では、自分の役割を明確にし、それをしっかりと果たせるように取り組んでいる。自分のすべきことがわからなくなってしまった時には、同じ班の上級生に事情を正直に話し、教えてもらうように指導を行った。また、運動会の取組でも、自分のすべきことを明確にし、上級生に頼らずに行動できるようにするとともに、わからない時には素直に聞けるよう	【特別活動】 縦割清掃活動では、班のリーダーとして、その役割を果たせるように取り組んでいる。リーダーとして、どのように指示すれば良いかわからなくなってしまった時には、事情を正直に話し、班員と相談したり、先生に聞いたりするように指導を行った。また、運動会の取組でも、チームの(副)リーダーとして、メンバーと相談しながら自分たちで練習を進められるよう

に指導を行った。 このような取組の結果、どうして良いかわからなくなってしまった時には、正直にそれを伝えることができるようになった。しかし、自分の失敗や過ちについてはなかなか認めることができず、ごまかしたり、言い訳をしたりする場面も見られる。 そこでこの授業では、なぜ、自分の過ちを認め、正直でいることが大切なのかを考えるとともに、自分自身が正直でいるために心がけたいことはなにかを考えさせたい。	に指導を行った。 このような取組の結果、不安がある時や、うまくいかなかった時にはそれを正直に認め、改善しようと助言を求めたり、相談したりすることができるようになった。しかし、その場ではすぐに過ちを認めることができず、ごまかしたり、怒ったりしてしまう場面が見られる。 そこでこの授業では、なぜ、自分の過ちを認め、正直でいることが大切なのかを考えるとともに、自分自身が正直でいるために心がけたいことはなにかを考えさせたい。
--	--

(3) 教材について(教材観)

第3学年	第4学年
本資料は、「わたし」が弟の分のアイスまで食べてしまったのに、「食べてない。」と嘘をつき、ごまかそうとする。しかし、心が晴れずモヤモヤした状態に耐えられなくなり、本当のことを親に話す、という内容である。本時は、過ちは誰にでもあることを容認しつつ、そのことを正直に認めることの大切さに気づくとともに、正直であるために自分が心がけたいことはなにかを考えさせたい。そのために「「わたし」が泣きながら少しほっとした時、心の中でどう思っていただろう。」という中心発問をする。この中心発問により、嘘をつくことが心に暗く影を落としてしまうことに気づき、正直でいることは、明るくのびのびと過ごすために重要だと理解することに繋げたい。	本資料は、主人公のけい太が水槽の掃除をしているときに、誤ってヒビを入れてしまう。そのまま言い出せずに暗い気持ちのまま帰宅するが、次の日決心して先生に打ち明ける、という内容である。本時は、過ちは誰にでもあることを容認しつつ、そのことを正直に認め、打ち明けることの大切さに気づくとともに、正直であるために自分が心がけたいことはなにかを考えさせたい。そのために「次の日、登校して水槽のところへ行ったとき、心の中でどんなことを思っていただろう。」という中心発問をする。この中心発問により、嘘をつくことが心に暗く影を落としてしまうことに気づき、正直でいることは、明るくのびのびと過ごすために重要だと理解することに繋げたい。

4 ねらい

第3学年	第4学年
過ちを素直に認め、反省し、明るく過ごすために正直でいようとする心を育てる。	

5 授業のポイント

第3学年	第4学年
○内容項目を深く意識させるための工夫 ・導入段階で先に本時のキーワードを示すことにより、今日の授業を通して考えなければならないことを明確にする。 ○当事者意識をもって考えさせるための工夫 ・資料の内容を自分ごととして捉えるために、資料は黙読と大まかな内容の確認のみにし、自分ならどうするかを考えさせる。 ○考えを深め、自己の生活と結びつけるための工夫 ・授業の最後に道徳カードを活用し、授業で考えたことをまとめ、振り返る時間を確保することで、今日の授業で考えたことと今後の生活を結びつけて考えられるようにする。 ・導入段階で、本時の最後に考えることを先に提示することで、ゴールに向かって見通しをもって学習に臨むことができるようにする。 ○少人数学級において、考えを広げるための工夫 ・内容項目を揃えることにより、導入とまとめを合同で行い、多様な考えに触れ、自分の考えを広げられるようにする。 ・昨年度までの当該学年の児童の感想を紹介したり、他学年の児童にも考えを聞いたりすることで、多様な考えに触れ、自分の考えを広げられるようにする。	

6 本時案

時間	学習活動 (◎中心発問、○発問、・児童の動きや反応、☆教師の働きかけ)	指導上の留意点 (■評価、◆内容項目に迫るための手立て、※留意点)	直接 or 間接指導	指導上の留意点 (■評価、◆内容項目に迫るための手立て、※留意点)	学習活動 (◎中心発問、○発問、・児童の動きや反応、☆教師の働きかけ)	時間
導入	☆キーワードの発表「正直」 ○「正直」とはどのようなことでしょうか。 発表 ○自分はどのくらい正直だと思いますか。スケールに名前マグネットを貼る。 理由の発表 ○最後に考えること(自分が正直でいるために心がけたいこと)を先に提示する。 ☆「正直」について考えることを意識づけ、各学年の学習に入る。					導入
展開前半	☆資料の紹介 ☆内容の確認 ○お母さんに「アイスを食べない？」と聞かれた時、どう思っただろう。 ・怒られる。・ごまかしちゃえ。 ・バレたらどうしよう。 ○次の日、自分の部屋に戻ってから、どんなこ	◆大まかな内容のみ確認し、自分だったらどうかを考えるように指示する。		◆ワークシート裏面の質問について考える。メモが必要な場合のみ記入する。ワークシートは事前に配付し、間接指導時に利用	・資料の黙読。 ・ワークシートに記入	展開前半

	とを考えていただろう。 ・ どうして正直に言えなかったんだろう。 ・ 怒られないかな。・ どうしよう。 ・ ワークシートに記入し、じっくり考える時間を確保する。				できるようにする。 ◆ 昨年度までの児童の考えを紹介する。	☆内容の確認 ○ひびを見つけたとき、どう思っただろう。 ・ やっちゃった！・ どうしよう。・ 正直に言おうかな。 ○お母さんに「どうしたの？」と言われた時、どんなことを考えていただろう。 ・ 言えばよかった。・ モヤモヤする。・ カシオペアは大丈夫かな。 ◎次の日、登校して水槽のところへ行ったとき、心の中でどんなことを思っていただろう。 ・ 水が漏れてなくてよかった。 ・ やっぱり正直に言おう。	
展 開 後 半	◎「わたし」が泣きながら少しほっとした時、心の中でどう思っただろう。 ・ 正直に言えてよかった。 ・ 気持ちが明るくなった。・ 嘘はつかないようになろう。 ・ 4年生にも意見を聞く。 ○なぜ、正直でいることは大切なのだろう。 ・ モヤモヤしたくないから。 ・ 不安になるから。 ○自分が正直でいるために心がけたいことはどんなことですか。 ・ ワークシートに記入。 ・ 間違ったことをしたらすぐに謝る。 ・ 嘘をつかない。	◆ワークシートに記入する。 ◆昨年度までの児童の考えを紹介したり、4年生にも聞く。 ※正直でいることが大切だと認識しているが、その理由を明確にする。			※正直でいることが大切だと認識しているが、その理由を明確にする。	○なぜ、正直でいることは大切なのだろう。 ・ モヤモヤしたくないから。 ・ 不安になるから。 ○自分が正直でいるために心がけたいことはどんなことですか。 ・ ワークシートに記入。 ・ 間違ったことをしたらすぐに謝る。 ・ 嘘をつかない。	展 開 後 半
ま と め	・ 自分の考えを発表、児童同士で交流する(まとめ黒板)。 ・ 交流を受けて考えたことや変わったことなどを道徳カードに記入、発表する。 ・ 道徳カードに記入 ■なぜ正直でいることが大切か理解できた。						ま と め

7-1 板書計画(メイン黒板)

3年生

2本アイス食べていない?

キーワード「正直」

正直ってなに?

ひびを見つけたとき...

4年生

わたし

ぼく

自分の正直度

0 20 40 60 80 100

理由

なきながら少しホッとした

次の日、水そうの前で...

わたし

ぼく

7-2 板書計画(サブ(まとめ)黒板)

自分が正直でいるために
心がけたいこと

8-1 ワークシート裏面(3年生)

⑤ 正直でいるために心がけたいことは？

④ なぜ、正直でいることは大切な？

③ 「わたし」がなきながら少しほっとした時、心の中でどう思っていたらう。

② つぎの日、自分のへやにもどつてから、どんなことをかんがえていたたらう。

① お母さんに「アイス二本食べてない？」と聞かれたとき、どう思っただらう。

○ あらすじ

あついある日、お母さんに聞いて、わたしはアイスを一本食べました。すぐに食べおわりましたが、どうしてももう一本食べたくなりました。そして、れいぞうこに入っていた一才の弟のアイスもがまんできずに食べてしまいました。

そのあと、とつぜんお母さんに「アイスを二本食べていない？」と聞かれてドキッとしますが、わたしは「一本しか食べてないよ。」と答えてしまいます。その夜は、なかなかねむれませんでした。

つぎの日、学校へ行ってもずっとモヤモヤしていました。家に帰ってお母さんに「アイス、本当に一本しか食べていないの？」と聞かれましたが、なにも言わずに自分のへやに行きました。

その夜、お父さんとお母さんに本当のことを話して「ごめんなさい。」とあやまりました。お父さんは、「弟のアイスを食べたのもわるいけど、うそをついてごまかしたのはもっといけないよ。」と言いました。わたしは、なきながら、少しほっとしました。

8-2 ワークシート裏面(4年生)

⑩ 正直でいるために心がけたいことは？

⑨ なぜ、正直でいることは大切な？

⑧ 次の日、登校して、水そうのところへ行つた時、心の中でどんなことを思っていたたらう。

⑦ お母さんに「どうしたの？」と言われた時、どんなことを考えていたたらう。

⑥ ひびを見つけた時、どう思っただらう。

○ あらすじ

4年生の教室でカシオペアという名前のカメを飼っている。ぼくは生き物係で水そうのそうじと、エサやりを友だちのかずきといっしょにやっている。

ある日、ぼくが水そうのそうじをしていたら、水そうをじゃぐちにつけてしまった。ぶつけたところを見てみると、ひびが入っていた。でも、ぼくは、水は少ししか入っていないし、だいじょうぶだろうと思っただ。

でも、そのあとは水そうのことが気になってじゅぎょうに集中できなかった。「ひびはうしろに向けたし、気づかないだらう。」とか、「もし、水がもれたらカシオペアの水がなくなってしまう。」など、いろいろなことをモヤモヤと考えた。

家に帰っても暗い気持ちでいたぼくは、お母さんに「どうしたの？」と聞かれたが、何も言えなかった。

次の日、登校してすぐに水そうを見に行つた。水はもれておらず、カシオペアも元気だった。

ぼくはそのまま先生のところへ行つて、正直に話した。先生は、「きちんと話してくれてうれしいわ。」と言ってくれた。それを聞いて、ぼくの気持ちはすっと明るくなった。

道徳学習カード

教材名「

(/)」名前

①	自分の考えをもって、発表することができましたか。	思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う
②	自分の考えを深められましたか。	思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う
③	自分の考えと違う、新しい考えに気づけましたか。	思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う
④	今日学んだことを、自分の生活に生かすことができそうですか	思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う
MEMO(なんでも自由に使ってください)		今日の授業で考えたことや、これからの生活の中で今日考えたことをどのように生かすか書いてください。			